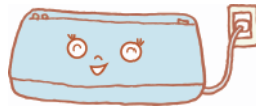


取扱説明書に従って、正しく使用しましょう

接続不良で火災・死亡

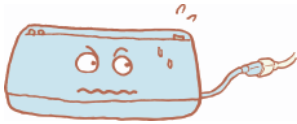
事例

エアコン付近から出火する火災が発生し、1人が死亡した。(平成21年2月 東京都)



原因

コード部分の接続が不適切だったため接続不良が発生して発熱、発火したものです。



電源コードは、テーブルタップや延長コードなどでつなぐず、専用のコンセントに直接つないでください。また、室外機の周辺は、ダンボールなど物を置かず、ゴミなどが散乱しないようにしてください。

内部洗浄後に出火して火災

事例

エアコンから出火する火災が発生した。(平成21年7月 神奈川県)

原因

室内機内に、電気を通しやすいエアコン洗浄液等が付着し、さらに結露が発生したため発火したものです。



室内機を市販の洗浄剤などを利用して内部洗浄するときは、取扱説明書に従って正しく使用してください。業者による内部洗浄で起きた事故もあります。異変を感じたら購入店やメーカーに連絡してください。

入浴中に一酸化炭素中毒

事例

入浴中にガスふろがまのシャワーを使用していたら気分が悪くなり、2人が一酸化炭素中毒になった。(平成21年5月 東京都)



原因

ガスふろがまを使用中、台所の換気扇を回したため、排気ガスが浴室に逆流して、一酸化炭素中毒になったものです。



室内に設置されている半密閉式のガス湯沸器や排気筒付ふろがままで風呂を沸かしているときは、浴室や他の部屋などの換気扇は使用しないでください。建物外壁の塗装工事中は、ガス機器の給排気筒(煙突)、換気扇などの給排気設備が養生シート等でふさがれていないことを確認してからガス機器を使用してください。

冷水筒が割れてやけど

事例

熱湯を注いだ冷水筒のふたを閉めたら割れて、やけどを負った。(平成21年1月 千葉県)



原因

熱湯は冷ましてからふたを閉める仕様の製品でした。熱湯だったため、容器の内圧が高まった状態となり、そこに外部から力が加わり、破損したものです。



取扱説明書をよく読み、表示も必ず確認して正しく使用してください。「ついつい」、「うっかり」で事故は起こりますので、気をつけてください。

ドライヤーでやけど

事例

ヘアドライヤーを使用していたところ、本体側の電源コード根元部分から火花が飛び、腕にやけどを負った。(平成22年6月 東京都)



原因

日常的にコードの根元が繰り返し曲げられていたため、断線・スパークしたものです。



収納時に本体にコードを巻き付けしないでください。コードは必ず伸ばして使しましょう。ヘアドライヤーは消費電力(W)が大きいため、コードに無理がかかった状態で使用を続けると、コードが断線して危険です。

このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。